2025年８月14日

各　　位

会　社　名　株式会社リファインバースグループ
住　　所　東京都千代田区丸の内三丁目４番１号
代表者名　代表取締役社長　越　智　　晶
（コード番号：7375）
問い合わせ先　取締役　経営企画部長　鈴　木　　諭　也
TEL. 03-6281-4879

中期経営計画「Growth100」の策定に関するお知らせ

当社は、2026年６月期から2028年６月期の３年間を対象とする中期経営計画「Growth100」を策定しましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以　上

証券コード: 7375

Growth 100

中期経営計画
2026年6月期～2028年6月期

2025年8月14日
株式会社リファインバースグループ

Corporate Purpose

誰にもない視点と技術で、
未来へ富をつないでいく。

私たちが、いちばん大切にしていること。

それは誰もやっていないことへの挑戦です。

自分たちだけが儲かればいいというのではなく。

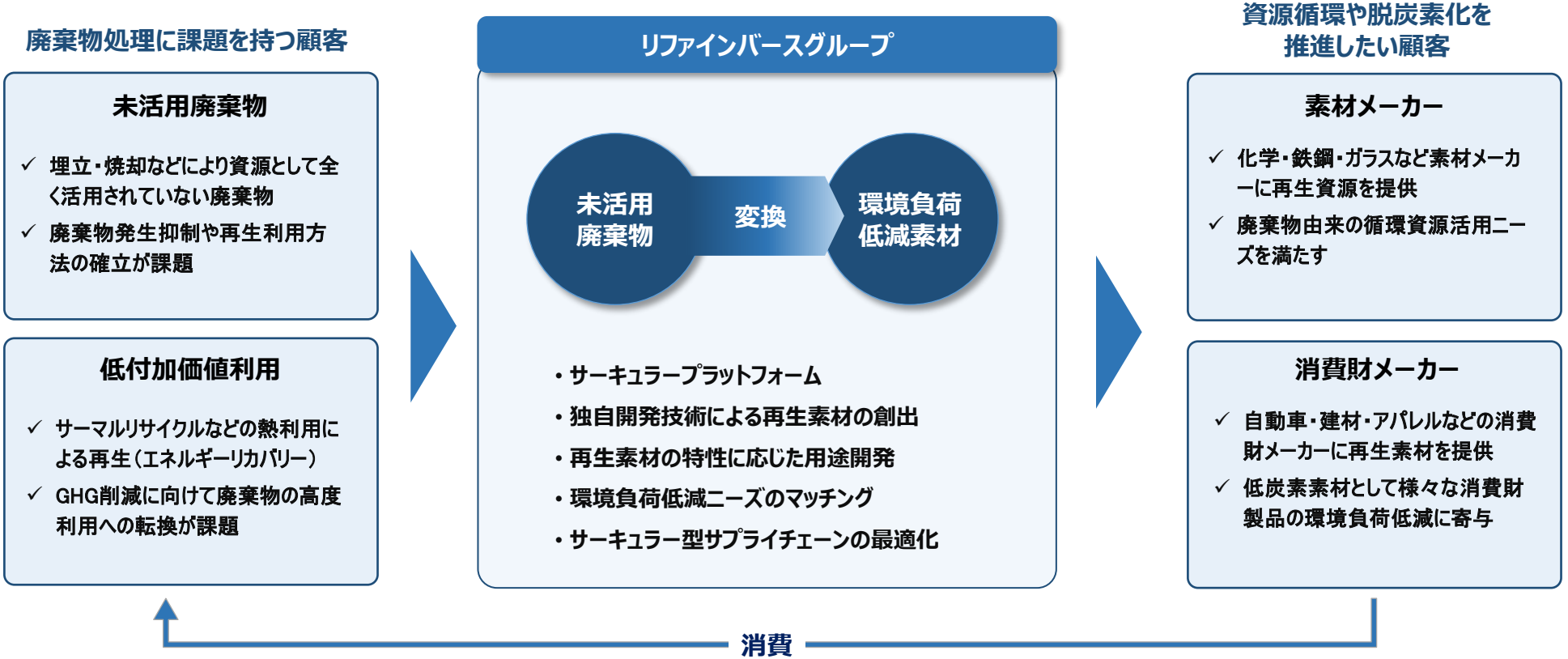
誰にもない視点で世界を見て、自在に技術を使いこなし

地球の未来のために、富を分かちあう。

リファインバースグループが目指しているのは、そういう社会です。

価値創造プロセス

廃棄物処理の課題を独自の再資源化技術によって解決することでサーキュラーエコノミーへの移行を推進。
サーキュラープラットフォームのトランザクションを拡大していくことで持続的成長を実現する。



Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

本中期経営計画の位置づけ

サーキュラーエコノミーへの移行が本格化し始めており既存のリサイクル事業が牽引役となり大きな成長機会が訪れている。
本計画期間は既存事業での収益を最大化し、ポテンシャルの高い新規事業への投資力を高めることで次期中計に繋げる。

《サーキュラーエコノミーへの移行と当社事業の変遷》

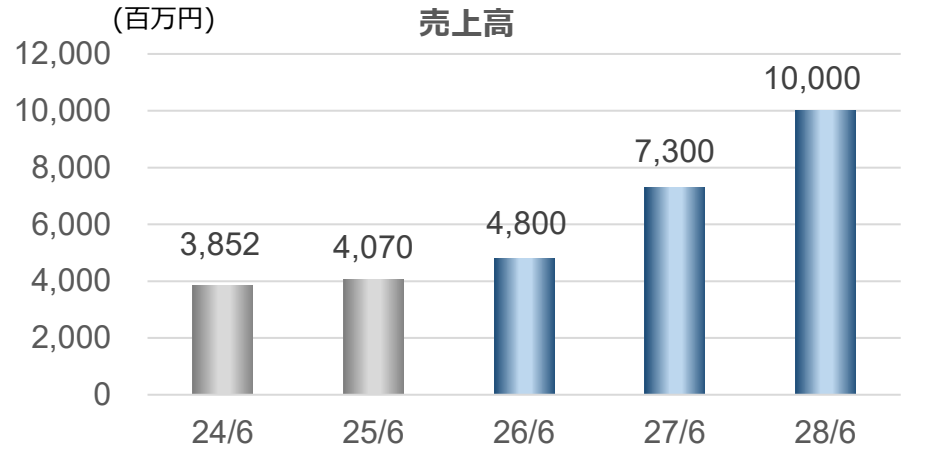
	直近5年間 2020-2025	Growth100 2026-2028	次期中期計画 2029～
	事業基盤の構築	事業収益の拡大	事業領域の拡大
主な取組	・三菱ケミカルとの資本業務提携による廃プラケミカルリサイクル事業化準備 ・産廃中間処理企業の買収 ・サーキュラー化を志向する大企業との連携や取引を強化	・サーキュラーエコノミーへの移行を背景に既存事業での収益を一気に拡大 ・廃プラケミカルリサイクル事業の立上げ ・新たな事業領域への開発投資を行い次期中計の拡大への基盤強化	・既存事業のオーガニック成長 ・廃プラケミカルリサイクルの規模拡大 ・複数の新規事業の立上げによる事業領域の拡大
外部環境	・2020年カーボンニュートラル宣言 ・サーキュラーエコノミーへの移行開始 ・SDG'sへの理解と賛同	・大企業を中心にサーキュラーエコノミーへの具体的な取り組みが加速 ・サステナブルビジネスへの関心が高まり人材の流入が増加	・サーキュラービジネスの裾野が広がり本格的に展開

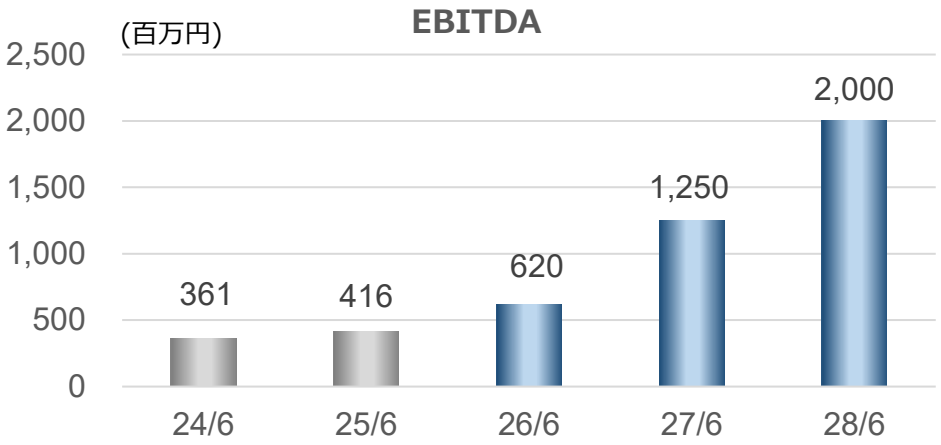
Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

中期経営計画「Growth 100」サマリー

顧客のサーキュラーエコノミーへの取組が具現化していることが追い風となり、これまで構築してきた事業基盤や当社の強みを活かすことで大きな成長を実現させ、かつ持続的な成長のための投資は積極的に行う。

【売上高・EBITDA 2028年目標値】





【成長施策】

Growth100 成長施策

- リサイクルタイルカーペットの需要拡大に対応し、使用済みタイルカーペットの調達を拡大することで、処分受託・再生素材(リファインパウダー)の両面でトランザクション増大を図る
- タイルカーペット回収時に発生する混合廃棄物の処分受託量を拡大しトランザクション増大を図る
- 三菱ケミカルの油化ケミカルリサイクル設備稼働に伴い、高品質な油化ケミカルリサイクル原料、マテリアルリサイクル原料を供給しトランザクション増大を図る

次期中期への再投資

- トランザクション増大に伴う収益を次期中期成長エンジンとなる再生素材の開発に再投資すると同時に、顧客開拓を進める

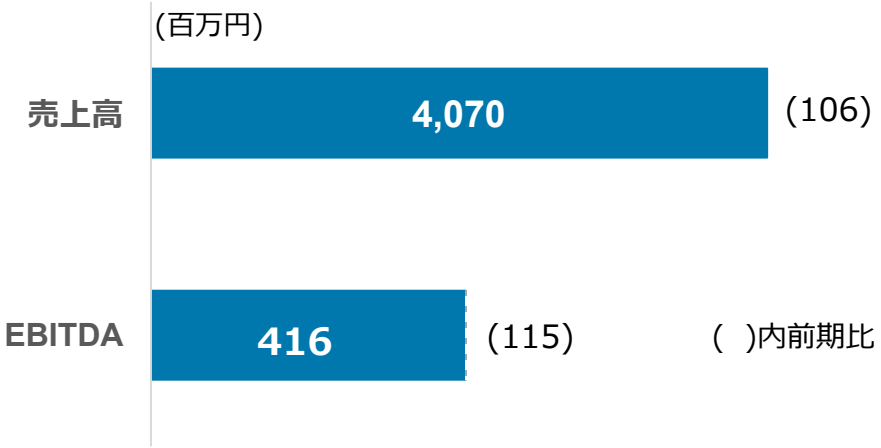
Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

2025年6月期　連結決算ハイライト

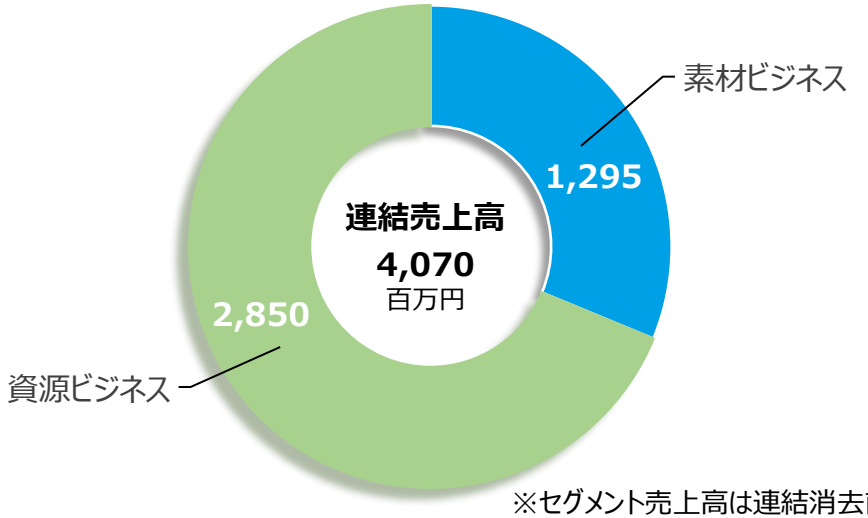
2025年6月期の課題であったタイルカーペットの需要増による需給ギャップの解消への取組を通じて、顧客ニーズの顕著な変化を確認。大企業を中心にサーキュラーエコノミーへの移行に向けた具体的な動きが活性化している事が大きなフォロー。

セグメント	取り組み施策	2025年6月期実績
素材ビジネス	■ リサイクルタイルカーペットの需要増による需給ギャップの解消	**CTR事業売上 前年同期比105%**
	■ 三菱ケミカルが実施する油化ケミカルリサイクルに対する原料供給体制の確立	**油化ケミカルリサイクルによる 資源循環モデル試行中**
資源ビジネス	■ 新規大手顧客の獲得による受注基盤の強化	**資源受注件数 前年同期比111%**

«通期業績»



«セグメント売上高構成»

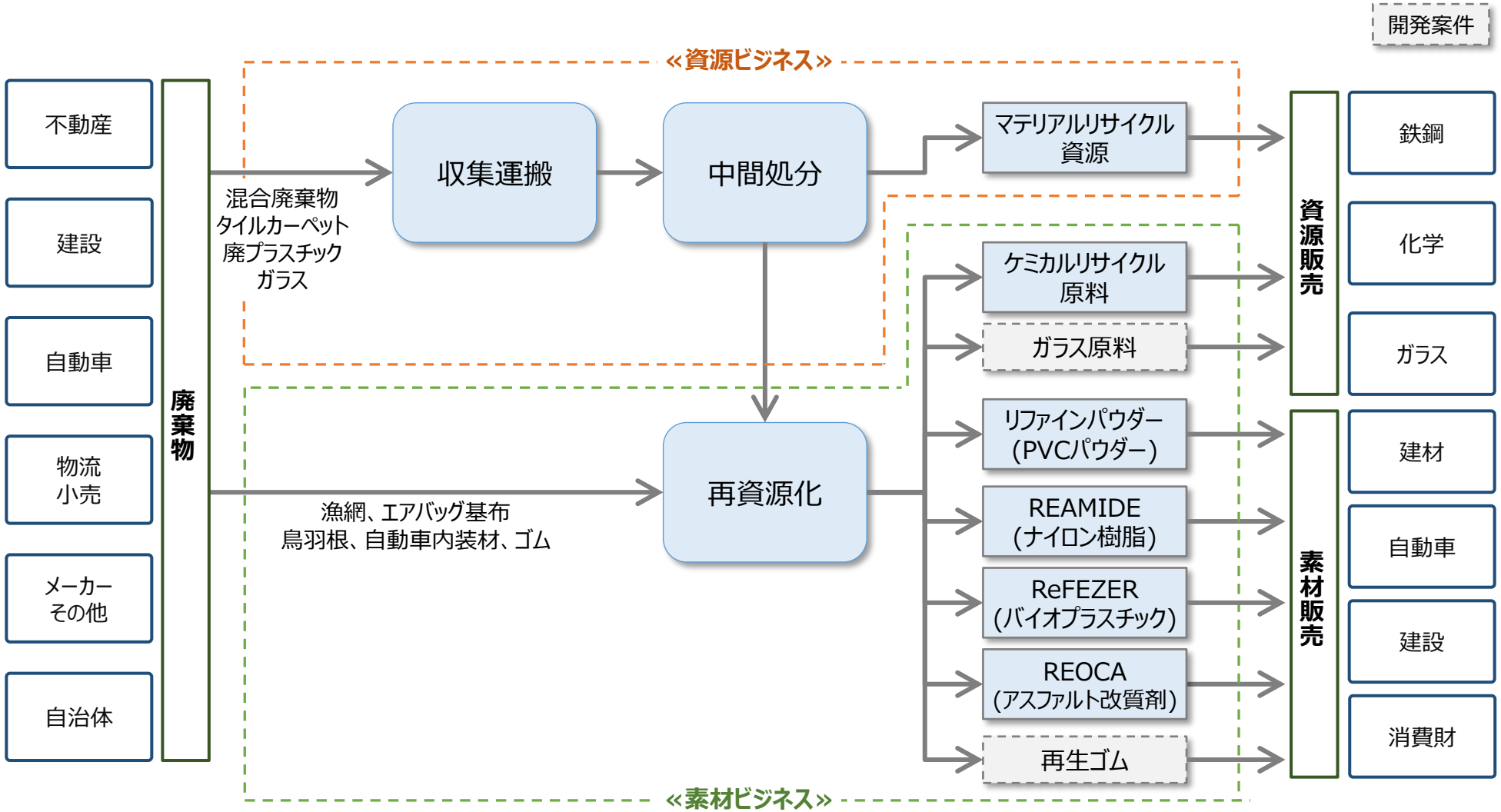


※セグメント売上高は連結消去前

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

ビジネスモデル

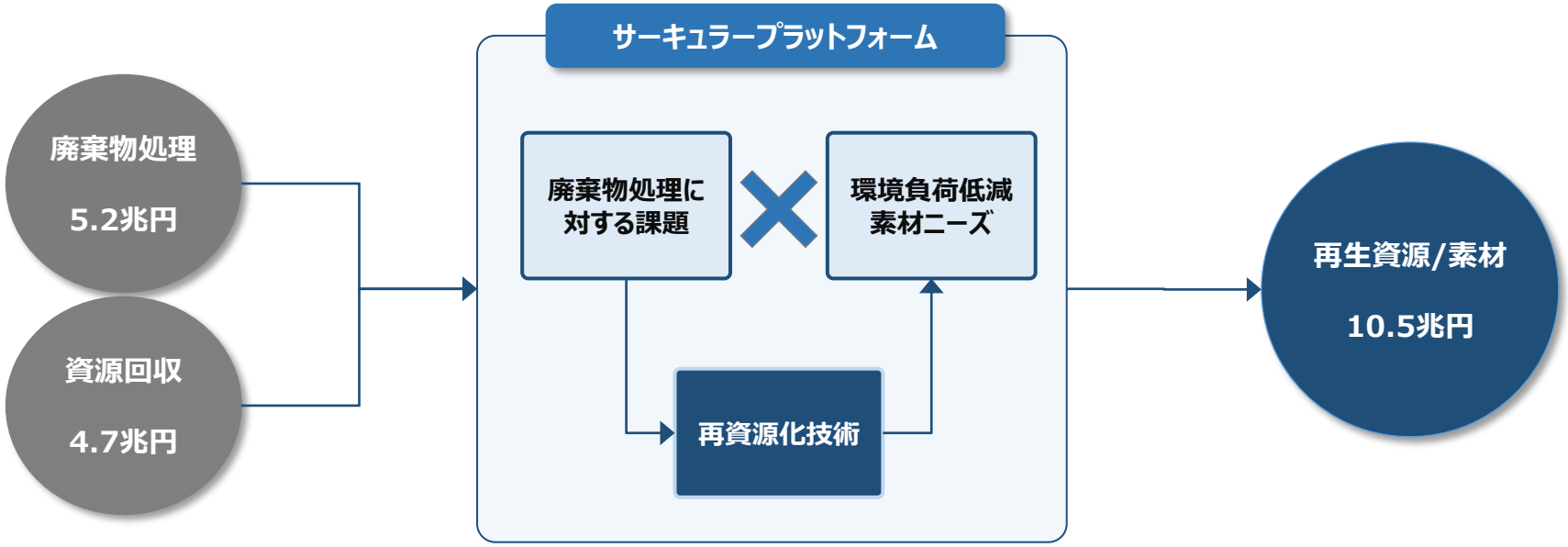
廃棄物の回収から資源・素材の販売まで一気通貫のビジネスモデルにより低コスト化と高品質化を両立。
顧客の課題解決能力と高品質・低コスト化によりサーキュラプラットフォームの拡大を進める。



Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

サーキュラービジネスの市場規模

サーキュラープラットフォームのインプットである廃棄物市場とアウトプットの再生資源市場はあわせて約20兆円の巨大市場。
プラットフォーム上のトランザクションを拡大していくことで持続的な成長を目指す。



Growth100での取り組み	既存事業であるタイルターカーペット・リサイクルの**トランザクション(スループット)を拡大することをフックとして、タイルカーペット回収時に発生する産業廃棄物の処理受託を拡大していく**

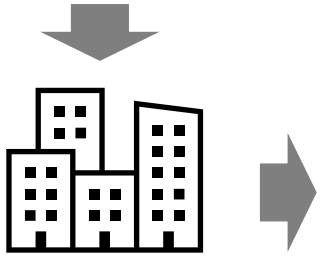
(出所: 令和5年環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書)

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

使用済みタイルカーペットの市場環境

オフィスビルの環境性能評価が重視されており、リサイクルタイルカーペットの需要は拡大。
同時に、原状回復時のタイルカーペット処分におけるリサイクルニーズも高まっている。

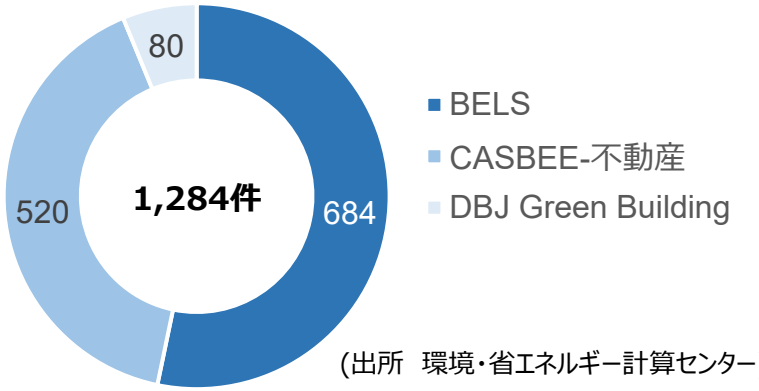
社会的な環境意識の高まりにより、ESGの観点からBELS,CASBEE、DBJ等の環境性能評価をデベロッパー等の不動産所有者は重視



デベロッパー等

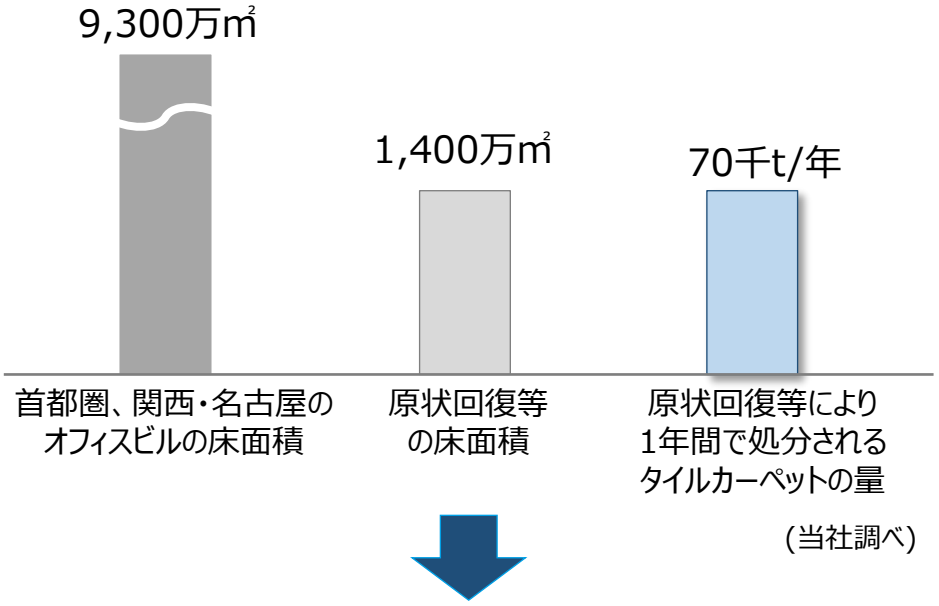
- 環境性能向上を目的に、低炭素商材であるリサイクルタイルカーペットを選択
- タイルカーペット処分においても、リサイクルを選択

東京都におけるオフィスビルの環境性能認証取得件数



(出所　環境・省エネルギー計算センター)

原状回復等により処分されるタイルカーペットの量



(当社調べ)

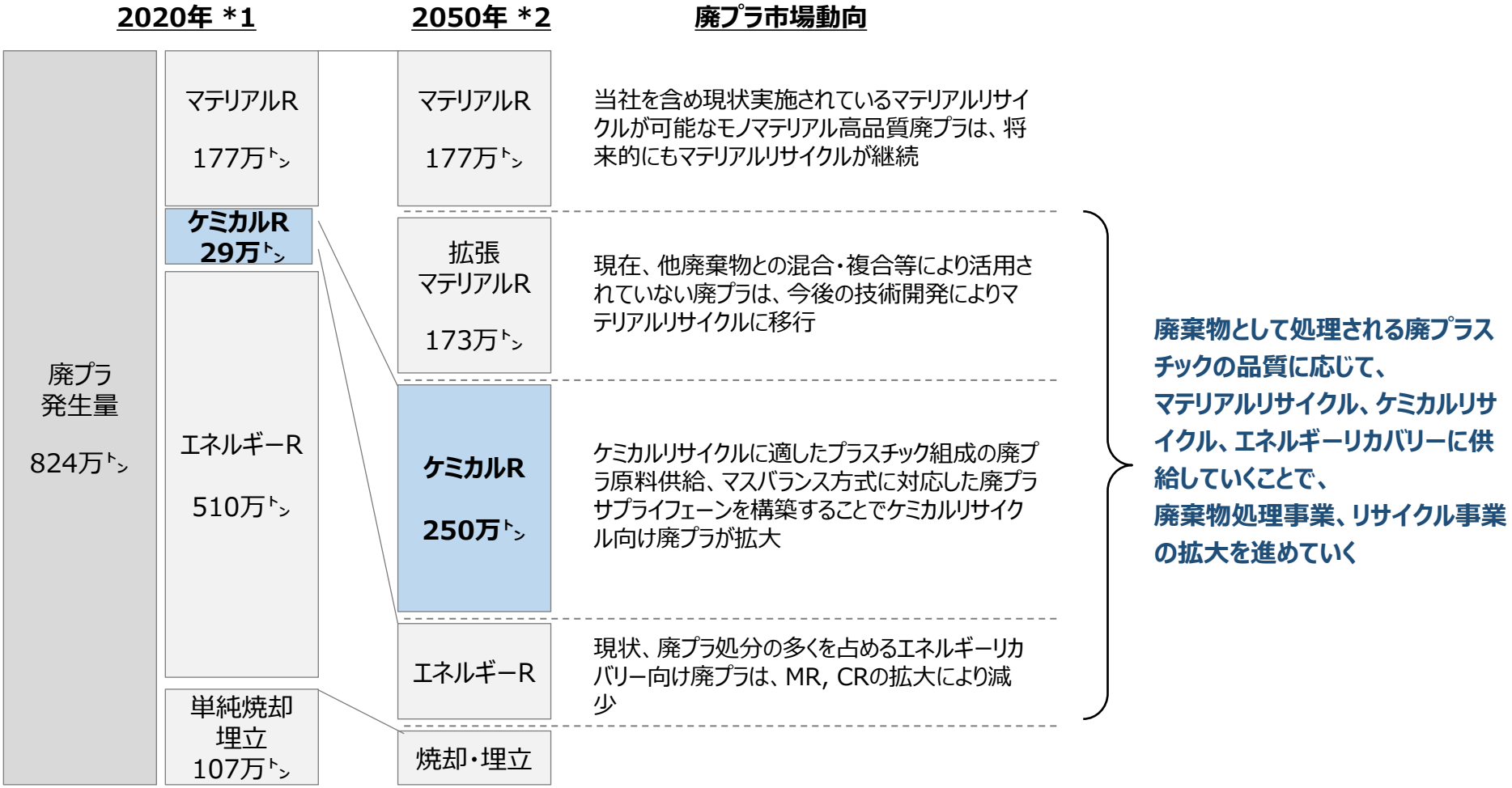
環境性能を重視する大手デベロッパー中心にリサイクル・タイルカーペットの需要が増加しており、リサイクル原料の供給がタイトとなっていた。

タイルカーペットリサイクルによる環境性能向上を提案することで、年間35千tの使用済みタイルカーペットの調達を拡大する。

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

ケミカルリサイクルの拡大による廃プラマーケットの変化

ケミカルリサイクルは、約250万トン/年に拡大すると想定されており、廃プラ処理における商流が大きく変わっていく。



*1 プラスチック循環利用協会「プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況」による「プラスチックのマテリアルフロー図」より当社にて図示
*2 日本化学工業会「廃プラスチックのケミカルリサイクルに対する化学産業のあるべき姿」による「廃プラスチックのケミカルリサイクルに対する化学産業のあるべき姿」を当社にて図示

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

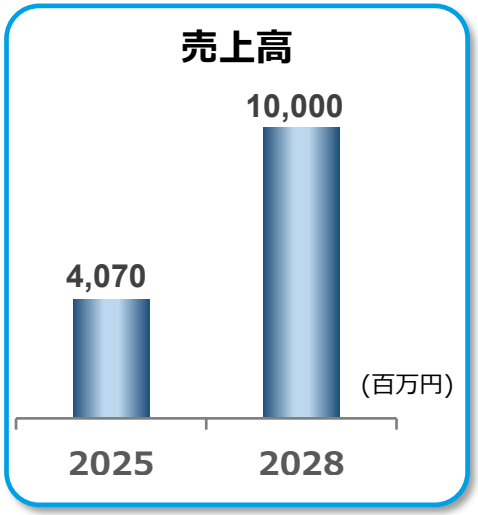
リファインバースグループの強み

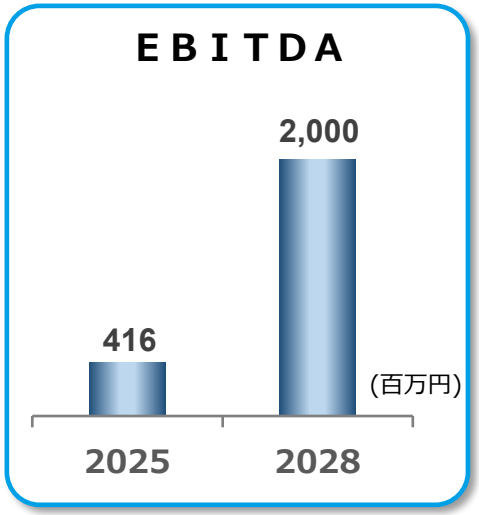
1	一気通貫の事業モデル	埋立を目的とした従来型の廃棄物処理モデルとは一線を画し、再資源化を目的とした資源回収から再生資源・素材販売まで一気通貫の事業モデルを構築することで、中間マージンを省いた低コスト化と高品質を実現
2	幅広い顧客層	サーキュラープラットフォームの顧客となる「廃棄物処理に課題を持つ顧客」(インプットサイド)、「再生資源・低炭素素材を利用したい顧客」(アウトプットサイド)との業界横断での取引実績
3	技術開発力	タイルカーペット、漁網、エアバッグ基布、鳥羽根、自動車内装材などの従来はリサイクルが困難な未利用資源を再資源化する技術を独自開発する開発力
4	豊富な人材	「廃棄物処理の課題」、「再生資源・低炭素素材に対する要求」の性質の異なる課題解決を可能にする多様なバックグランド(メーカー、廃棄物処理、官公庁など)の人材
5	DX化	紙をベースにした廃棄物処理業務を排し徹底したデジタル化により社内外での業務効率向上、情報のデジタル化を実現し、デジタル情報を活用したサービスを顧客に提供可能

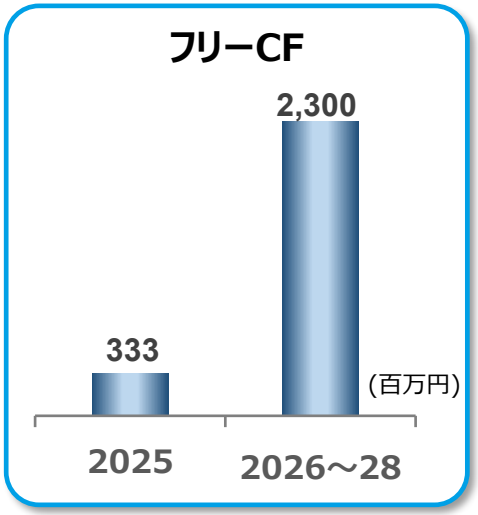
Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

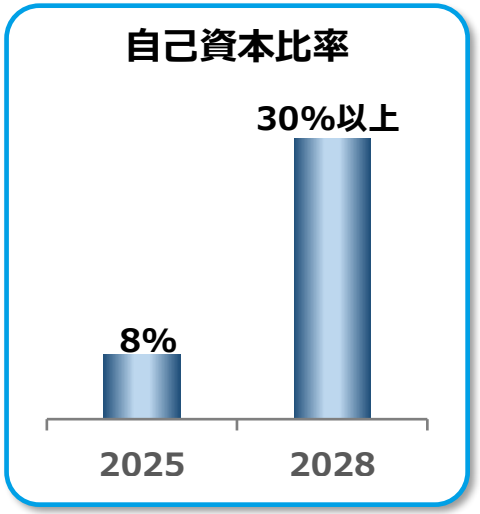
中期財務指標

Growth100では、大幅な収益性改善により積極的な成長投資と自己資本比率改善を進める。









成長投資

事業	投資内容	投資額(億円)
タイルカーペットリサイクル	生産性改善投資	0.5
	関西・中部の回収拠点整備	0.5
資源ビジネス	中間処理工場能力向上	1.0
	物流機能強化	2.0
	中間処分工場M&A等	10.0
油化ケミカルリサイクル	一宮工場製造プロセスの改良	1.0
その他新規事業開発など		プラスα
	計	15＋α

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

成長施策サマリー

大手企業を中心としたサーキュラー化の本格的な取組を背景にタイルカーペットリサイクル事業が牽引役となり成長。
廃カーペット・廃プラケミカルリサイクルが差別化要素として牽引効果を発揮し、資源ビジネスの連動受注により大きく伸ばす。

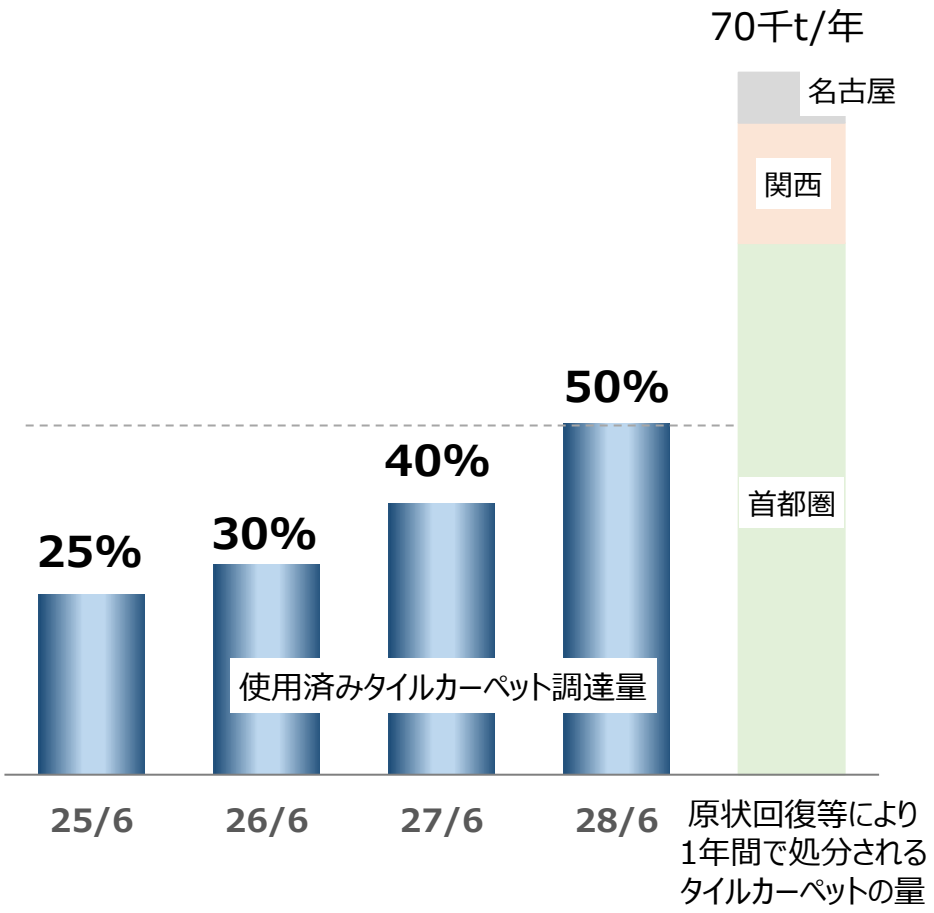
KPI	2025/6期	成長施策	2028/6期
使用済み タイルカーペット調達量	20,040t	• 環境対応を重視する大手デベロッパーに対して、タイルカーペットリサイクルによる環境性能向上を訴求することで、原状回復工事で発生する使用済みタイルカーペットの回収を拡大	35,000t
資源ビジネス受注件数	42,858件	• タイルカーペット回収時に同時に発生する混合廃棄物の処分委託を拡大することで、受注件数を拡大 • 受注件数の増加に伴う廃棄物処理量拡大に対応し、中間処分施設のM&Aを進める	100,000件
ケミカルリサイクル原料	0t	• 三菱ケミカルの油化ケミカルリサイクル設備稼働に伴い、高品質な油化ケミカルリサイクル原料、マテリアルリサイクル原料の販売量を拡大	20,000t

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

タイルカーペット調達量拡大

市場で発生する使用済みカーペットの回収率は現状の25%程度で成長余地は大きく3年間で回収率50%を目指す。
サーキュラー化の取組を推進している大手デベロッパーとの直接取引の強化により着実に回収量を伸ばす。

使用済みタイルカーペットに対する調達シェア



成長施策

- 大手デベロッパー(10社)を中心に、タイルカーペット・リサイクルによるCASBEE、GRESBなどの環境性能評価向上をフックとして、使用済みタイルカーペットの調達量拡大を進める。
- 環境負荷軽減に対するタイルカーペット・リサイクルの有効性について広報活動を強化し、デベロッパー、建設会社などの認知度向上を進める。
- 既存のタイルカーペットリサイクル工場のフル稼働により追加投資は不要。（フル稼働により粗利率大幅改善）

成長投資

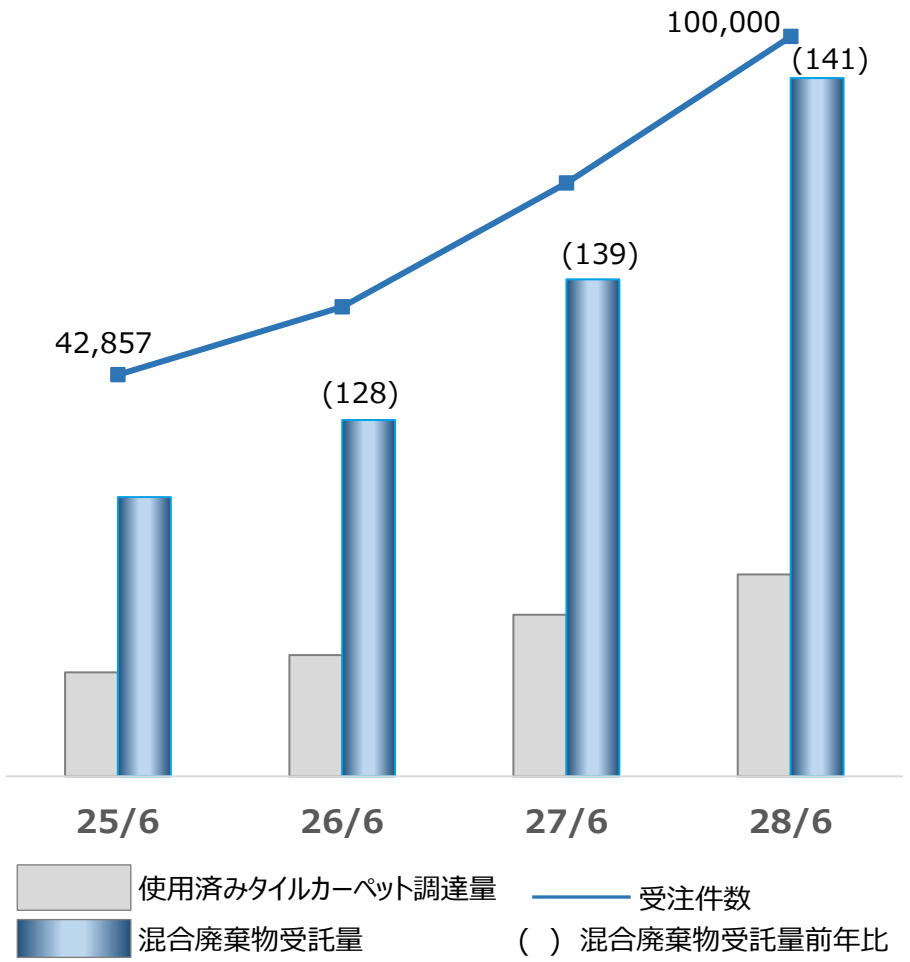
■ 生産性改善投資	:5千万円
■ 関西・中部の回収拠点整備	:5千万円

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

産業廃棄物処理受託量の拡大

デベロッパーからの使用済みタイルカーペット回収時に発生する混合廃棄物処理を連動受託することにより、産業廃棄物処理受託量の拡大を進める。

タイルカーペット調達に伴う混合廃棄物受託量



成長施策

- 使用済みタイルカーペット1t当り20立米の混合廃棄物が発生するため、それらの処分を連動して受託することにより混合廃棄物の処理受託量の拡大を進める。
- 混合廃棄物の処理受託量の増加に対応し、中間処理工場の能力増強を進める。
- 更なる処理受託量の増加に対応するため、中間処理工場のM&A等を検討する。

成長投資

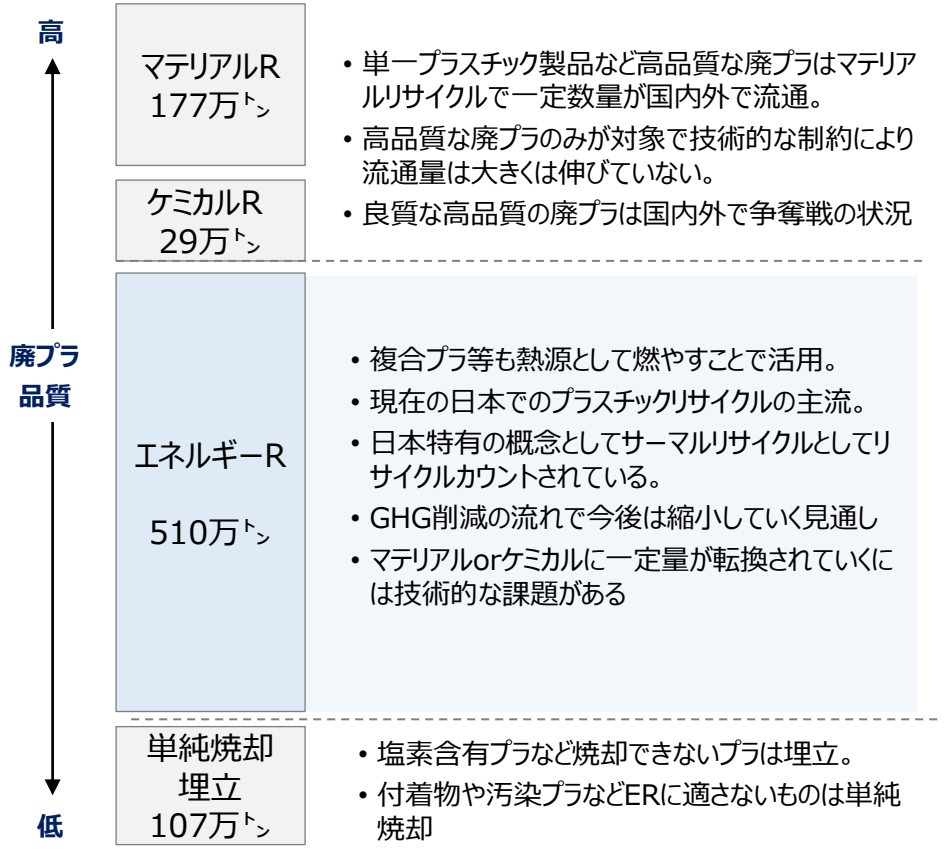
■ 中間処理工場能力向上	:1億円
■ 物流機能強化	:2億円
■ 中間処分工場M&A等	:10億円

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

ケミカルリサイクル原料供給

三菱ケミカルの油化ケミカルリサイクルやマテリアルリサイクル向けに年間20千tの廃プラ原料を供給。
現在主流となっている廃プラスチックのエネルギーリカバリーから資源循環に移行させ脱炭素化に貢献する。

《廃プラ処理の現状》



《廃プラ処理の今後》

- ✓ 複合プラの選別や異物除去などによりエネルギーR向け廃プラ高純度化処理を行う。
- ✓ 高純度化されたプラはケミカルRないしはマテリアルR向け原料として提供。
- ✓ 高純度化処理によりエネルギーRされている廃プラの一定比率がケミカルリサイクルされることでGHG削減、炭素循環に貢献。

当社が培ってきた廃棄物の選別や分離精製技術を駆使し、
熱利用されている廃プラを高品質化

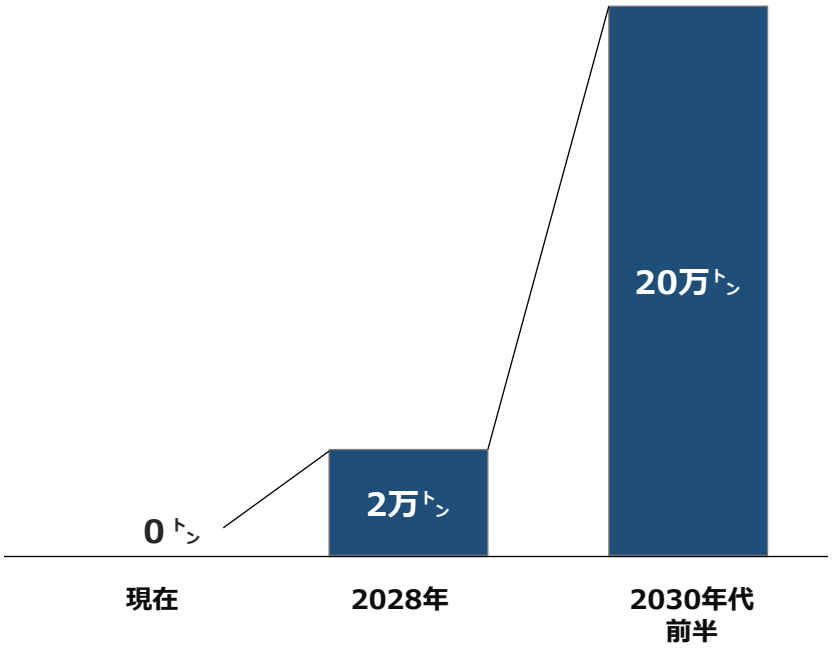
(出所: プラスチック循環利用協会, プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況)

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

ケミカルリサイクル原料供給

本中期計画期間中はケミカルリサイクル向け原料供給ビジネスの立上げ期の位置付け。
高品質化技術を活用した量産プロセスと廃プラ回収網を構築し、2030年代の規模拡大に向けて事業基盤を確立する。

《ケミカルリサイクル向け原料供給目標数量》



成長施策

- 他のリサイクル事業で培った独自の分離精製技術を活用し、ケミリサ向け高品質原料化プロセスを確立。
- 中品質の熱利用向け廃プラの調達ルートを確立し、価格競争に巻き込まれない安定調達ネットワークを構築する。
- 2030年代に見込まれている需要増大に向けて調達・製造体制を整備。
- 2030年代に100億円程度のコア事業に成長させるために、本中期計画期間でビジネスモデルを確立する。

成長投資

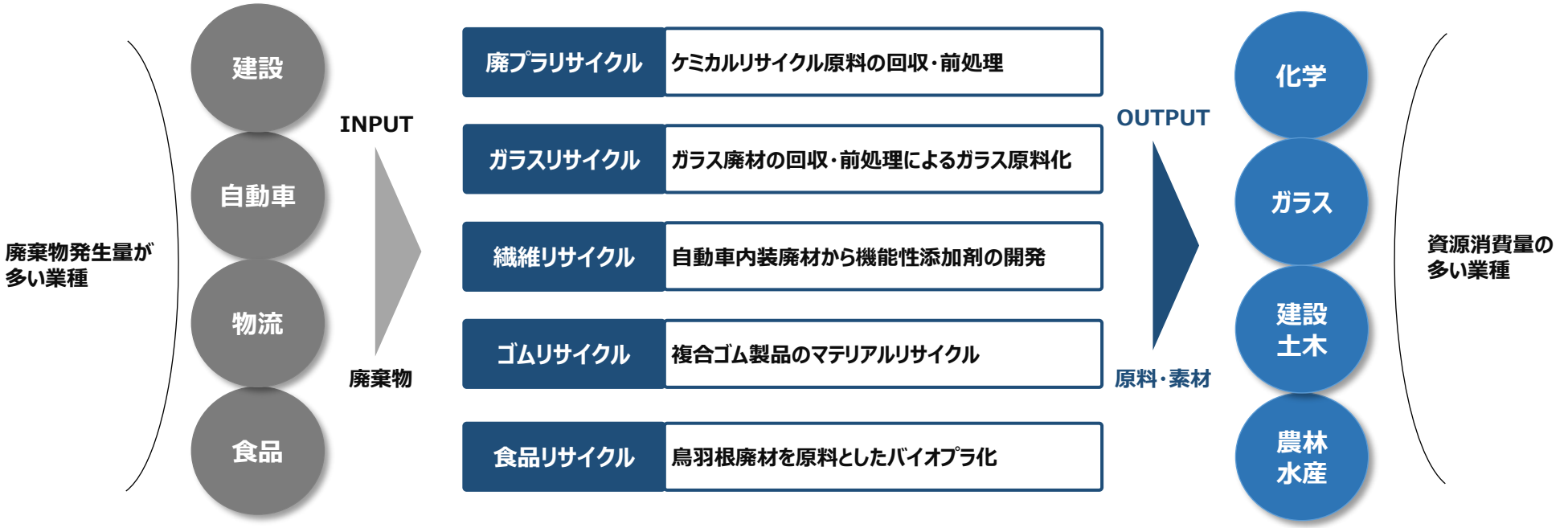
■ 一宮工場製造プロセスの改良	:1億円
■ 量産プロセスの新設	:検討中

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

経営基盤強化：新規事業開発

廃材排出量と再生資源需要量の双方に大きな市場を有する未活用資源をターゲットとして事業開発を行っている。
本中期計画期間中に技術開発投資と事業化準備を進め、次期中期計画の成長の核になるように育てる。

《現在取り組んでいる新規事業案件》



動脈企業が求める再生素材の品質基準・コスト水準を満たす再生技術を開発することで、
静脈と動脈を繋ぐ新しい流れを創り出すことができる。

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

経営基盤強化： 人的資本

サーキュラーエコノミーの推進を志向する様々なバックボーンを持つ優秀な人材が集ってきており新たなビジネスを牽引。
未来のビジネスを担うハイポテンシャルな最優秀層の新卒採用に注力し前例や正解のないビジネスへのチャレンジを後押し。

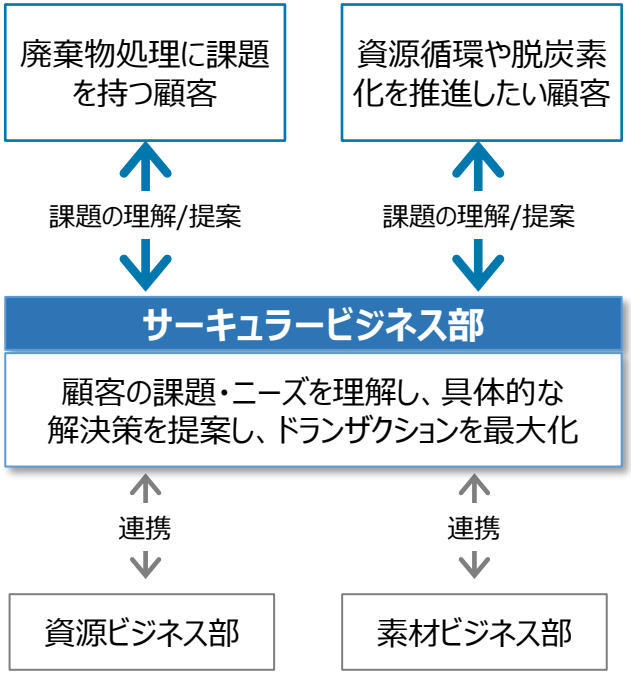
多様な人材の確保

- サーキュラープラットフォームにより、新たな循環型社会の形成を実現していくためには、多様な能力を結集することが必要。

専門性	• 産業廃棄物業界以外の化学、不動産、人材サービス、コンサルティング、官公庁など幅広い業界から専門性の高い人材を採用
思考力	• 新たな課題に対してゼロベースで解決策を導出するチャレンジを励行 • 最優秀層の新卒のみを選別採用し、チャレンジの機会を与えることで早期に戦力化

成長戦略を実現する組織

- サーキュラープラットフォームにより、「廃棄物処理の課題」と「資源循環や脱炭素化の推進ニーズ」を繋いでいくためには、強力な提案力が必要であり、提案チーム(サーキュラービジネス部)を設立し、トランザクションを最大化する。

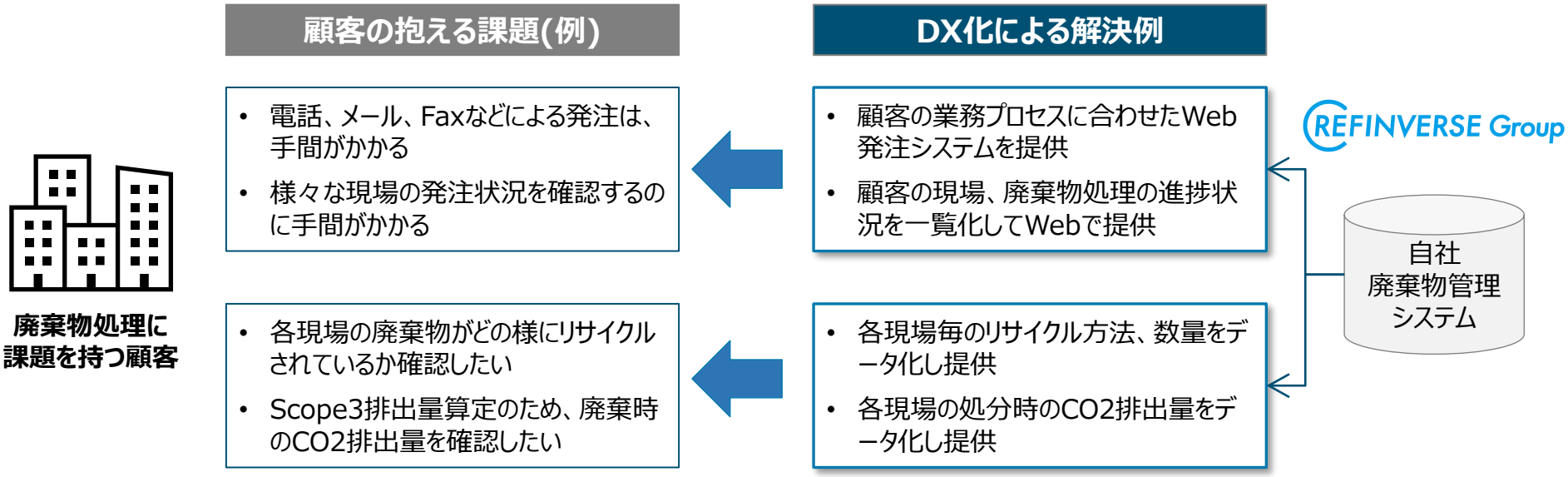


Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

経営基盤強化： DX化の推進

デジタル化が遅れている廃棄物処理業務に自社開発の業務管理システムを提供することで顧客の業務改善に貢献。

煩雑な事務手続きを簡素化するだけでなく、処理状況やリサイクル状況の可視化、トレーサビリティの担保など顧客にとって有用なサービスを提供することで継続受注の確保や取引拡大につなげる。



自社開発の廃棄物管理システムで保持するデータを顧客に無償提供し利用していただくことで、顧客満足度の向上を進め取引量拡大、新規顧客の獲得を進めていく

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

– Appendix –

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

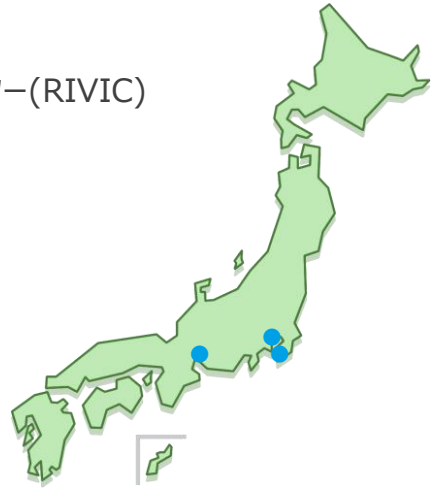
誰にもない視点と技術で、
未来へ富をつないでいく。

会社概要

会　社　名：株式会社リファインバースグループ
資　本　金：162百万円（2025年6月末）
設　　立：2021年7月（創業1983年）
従　業　員：227名(グループ全体)
関連会社　：リファインバース株式会社
　　株式会社ジーエムエス
　　株式会社コネクション
　　リファインマテリアル株式会社

主要拠点

- 本社 東京都千代田区丸の内
- 千葉工場　千葉県八千代市
- リファインバースイノベーションセンター(RIVIC)
  千葉県富津市
- 一宮工場　愛知県一宮市
- 船橋ラボ　千葉県船橋市
- TACS3　東京都大田区
- リファイン1　東京都葛飾区
- ディスポ鹿浜　東京都足立区



Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

2003年に前身であるリファインバース株式会社を設立し、カーペットタイルやナイロン樹脂のリサイクルを中心に事業を拡大。

2003年	• リファインバース株式会社を設立
2006年	• 千葉県八千代市でカーペットタイルリサイクル工場操業開始 (千葉工場)
2011年	• 住友商事・住江織物と共同開発したリサイクルカーペットの販売開始
2016年	• 日東化工(株)よりリサイクルナイロン樹脂事業を承継 • 東証マザーズ上場 • 再生樹脂製造子会社リファインマテリアル(株)設立
2017年	• 開発拠点であるリファインバースイノベーションセンター(RIVIC)竣工 • 建設系廃棄物を原料とした製鋼副資材の製造販売を開始
2019年	• リサイクルナイロン製造拠点の一宮工場竣工 • 再生ナイロンコンパウンド「REAMIDE®」を販売開始 • ソリューション事業を開始 • 再生スーパーエンジニアリングプラスチック事業を開始
2021年	• 株式会社リファインバースグループ設立。持株会社体制へ移行
2022年	• 資源ビジネス事業領域拡張のため株式会社コネクションを買収 • 株式会社鈴木商会にライセンス供与し、北海道で「REAMIDE®」の生産を開始 • 廃車から回収したエアバッグからリサイクルナイロン樹脂製造を開始
2023年	• サーキュラーエコノミーの研究開発拠点 「COCo Lab.」を千葉県船橋市にオープン • 再生バイオ素材「ReFEZER®」を発表
2024年	• マスバランス方式による資源循環に対応するため「ISCC PLUS」認証を取得

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

素材ビジネス: リファインバースのリサイクル事業

日本を、資源大国にしよう。
REFINVERSE Group

これまでに有効利用されていない廃棄物を独自開発技術で再生処理を行い様々な素材を製造。
アパレルや自動車部品、建築資材など幅広い分野で“ポストコンシューマーリサイクル材料”として活用されている。

《リファインバースのリサイクル事業実施例》

原料（廃棄物）	カーペット	漁網	エアバッグ	鳥羽根
再生素材	塩化ビニル	ナイロン6	ナイロン66	生分解性プラスチック
活用例	《消費財や工業製品の原料として活用》			

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

素材ビジネス: カーペットタイルリサイクルフロー

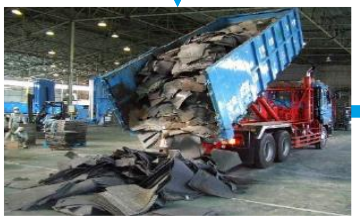
独自開発のリサイクル技術により理想的な水平循環型マテリアルリサイクルを実現。20年近い年月を経ても独占的ビジネスを展開しており非常に強いポジショニングを構築。

原料(廃カーペットタイル)調達 ＞ 製品化（再資源化） ＞ 販売

GMS

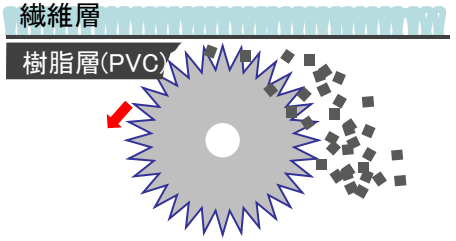
建築系廃材
中間処理業者

廃カーペットタイル



■ グループ企業である(株)GMSや協業する建築系廃材中間処理業者から、廃カーペットタイルを選択的に調達

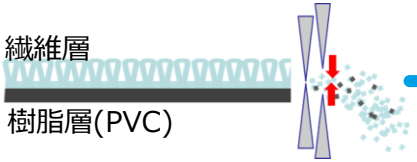
切削



■ 独自設計の切削刃により、樹脂層と繊維層の境界面での精緻な分離加工技術を開発し、低コスト・高生産性を実現

残繊維層

粉砕



分級

■ 粉砕工程でカーペットタイルを微粉砕し、分級工程で網状部材に載せて吸引しながら振動を加え繊維紛と樹脂紛に分離する一貫プロセスを開発。(特許第6625194号)

■ 廃カーペットタイルの性状に応じたリサイクル技術の使い分けにより、繊維層の活用、塩ビ収率向上による低コスト化・高生産性を実現

リファインパウダー

カーペットタイルメーカー

短繊維

製鋼副資材の原料へ

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

素材ビジネス: タイルカーペットリサイクル工場の概要

千葉県八千代市と富津市にタイルカーペットリサイクルの専用工場を保有。

あらゆる廃カーペットのリサイクルを実現するために異なるリサイクル技術を活用し首都圏で発生する廃カーペットを50%以上をリサイクルしている。直近の回収量は2万t～2万５千t/年程度。(４００万平米～５００万平米=東京ドーム約100個分)

《カーペットリサイクル工場の概要》

千葉工場（八千代市）
処理能力：18,000t/年（約3,600千平米相当）
リサイクル方法：切削分離方式

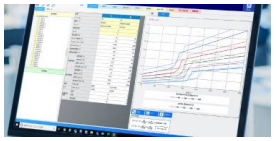
リファインバースイノベーションセンター（富津市）
処理能力：24,000t/年（約4,800千平米相当）
リサイクル方法：微粉砕分離方式

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

素材ビジネス: 漁網リサイクル/自動車エアバッグリサイクル事業

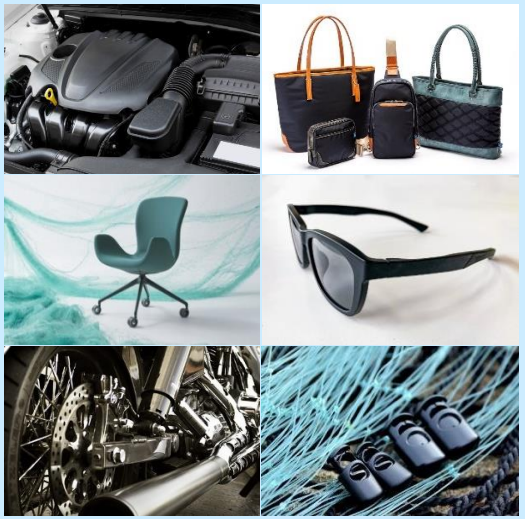
日本を、資源大国にしよう。
REFINVERSE Group

廃漁網やエアバッグからリサイクルナイロンコンパウンド「REAMIDE®」を開発・製造。
生産性の高い独自ノウハウを導入した製造ラインによる 高品質リサイクル を実現。

原料（廃棄物）調達	当社保有技術による製品化				販売先（用途）
廃漁網 エアバッグ端材 	独自技術による前処理 環境に配慮した 独自の前処理工程	押し出し工程 	ペレタイズ 	コンパウンド 	アパレル素材 自動車・バイク部品 オフィス家具など

REAMIDE®の主な使用例

Made from fishnet REAMIDE

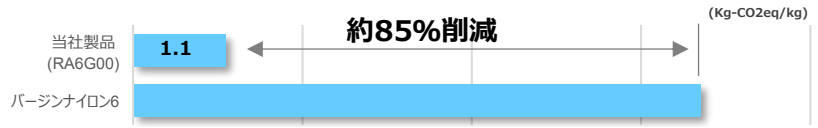


活動事例

一般社団法人
ALLIANCE FOR THE BLUE

LCA(Life Cycle Assessment)

漁網由来REAMIDE®とバージンナイロンのCO2排出量比較



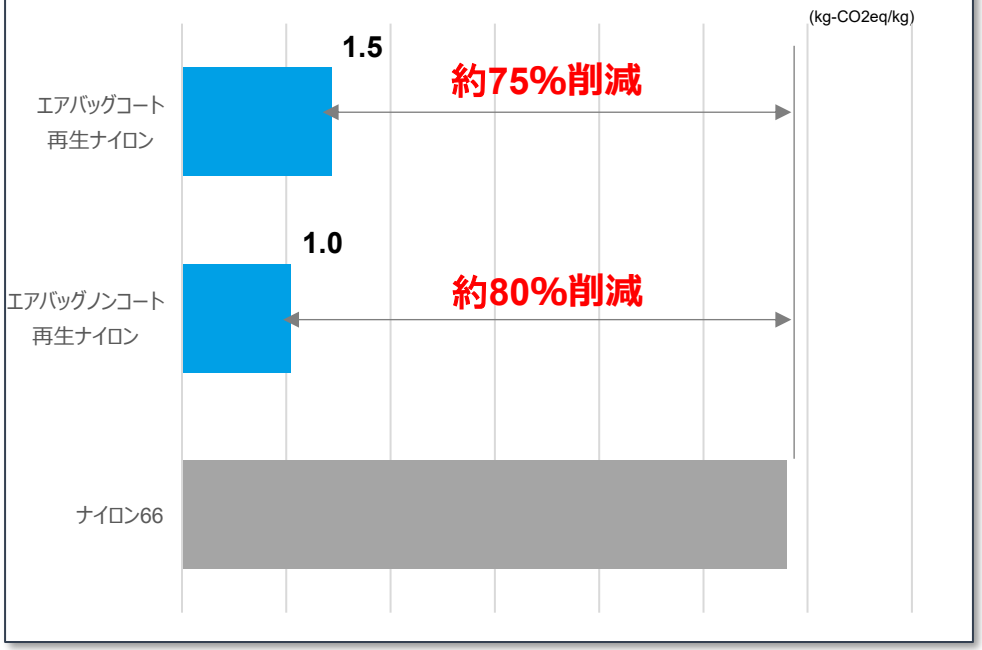
※バージンナイロンのCO2排出量は各社データを参考に当社算出

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

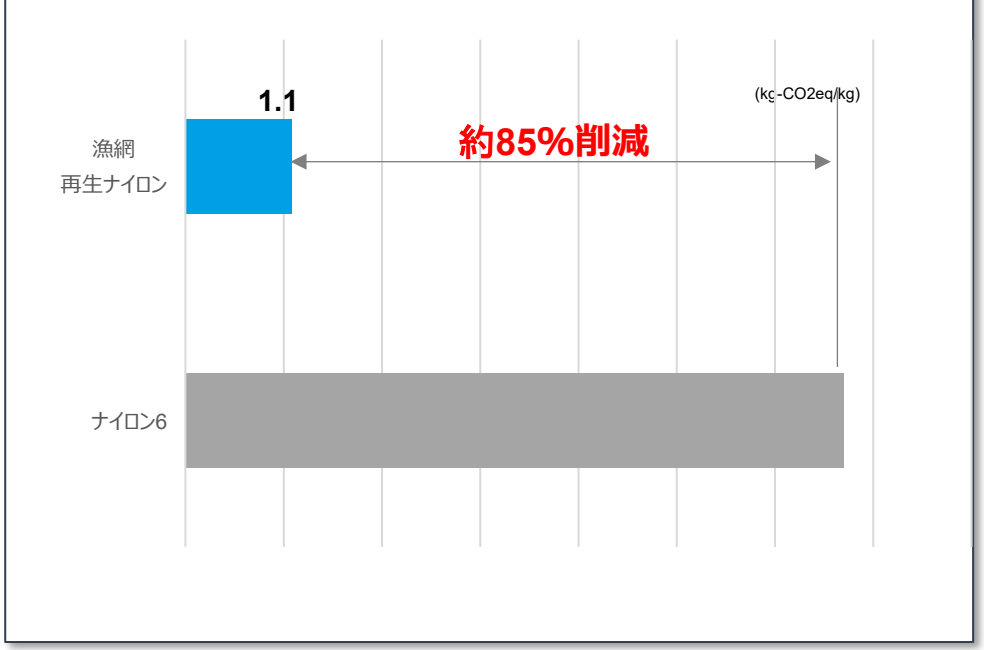
素材ビジネス: リファインバースの脱炭素への貢献例

当社の素材再生技術により圧倒的に低炭素な素材の製造を実現。石油由来のバージン樹脂と比較した場合のCO2削減効果は高く、当社の素材(REAMIDE®)の生産量・販売量・使用量が増加することでCO2削減効果が高まる。

《ナイロン66（エアバッグ由来）LCA比較》



《ナイロン6（漁網由来）LCA比較》



・算定・宣言のルール、システム境界は一般社団法人サステナブル経営推進機構様の「製品カテゴリールール（PCR）（認定 PCR 番号：PA-165000-BA-02）対象製品：リサイクルプラスチック原料（中間財）」を参考
・プロセスの各段階におけるCO2排出量はIDEAv2.3を参考に当社にて算出
・バージンナイロンのCO2排出量は複数のLCI-DB調査結果に基づき当社にて算出

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

素材ビジネス：製鋼副資材事業

弊社ネットワークを活用し、顧客仕様に適合する原料廃棄物を選択的に収集し、組成・配合を最適化することで廃棄物の新規用途開発。

一例として、カーペットリサイクルで生まれる短繊維屑を活用し、性状・成分を活かした製鋼副資材の開発を行い大手鉄鋼メーカーに納入。

原料（廃棄物）調達	当社保有技術による製品化	販売先（用途）

原料

原料探索
原料開発
原料調達

粉砕・分級
カーペットタイルの粉砕・分級技術を活用

配合
顧客品質仕様に適合する材料組成の選択・配合

混合圧縮成形
顧客品質仕様に適合する形状を実現する造粒技術

目標品質
目標コスト
ご提案

メーカー様

製鋼副資材

カーペットリサイクルで生まれる短繊維屑を活用し、
性状・成分を活かした製鋼副資材

活動事例

日本製鉄株式会社パートナー表彰受賞

東日本製鉄所鹿島地区第二製鋼工場で使用するフォーミング抑制材において、IPP灰を活用した新たな製品をその高い技術力によって開発したとともに、製造供給体制を構築したことにより、資材費効率化と安定供給体制の確立に大きく貢献したとして機材調達部より表彰を受けました。

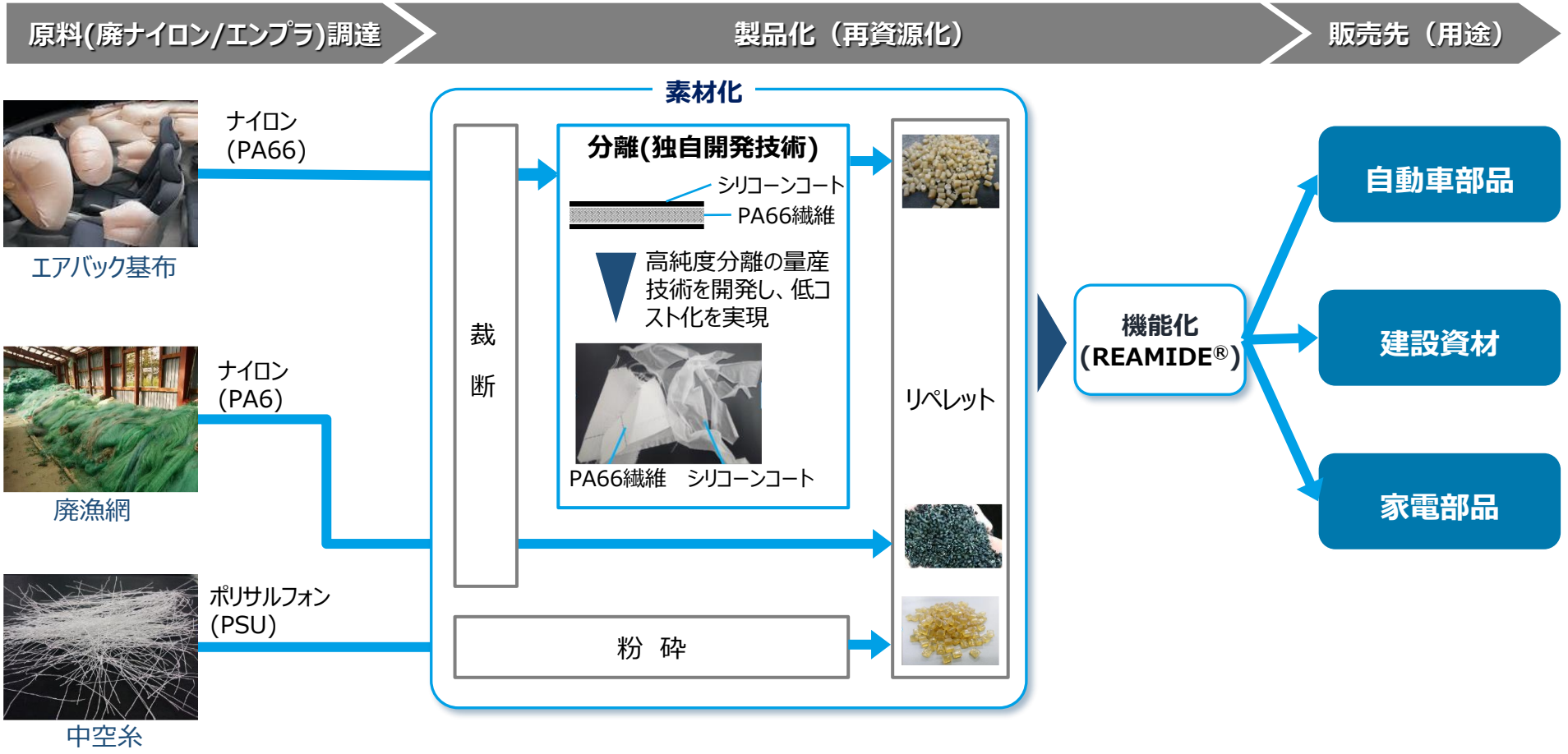
Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

素材ビジネス: 漁網リサイクル/エアバッグリサイクルフロー

エアバッグや漁網に使用されるナイロン樹脂のリサイクルを展開。従来再生利用できなかった廃棄物を独自技術でリサイクルすることで再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」を製造。

エアバッグや漁網のリサイクル技術をパートナー企業に供与し設備一式を販売するなどソリューション事業とも連携。

パートナー企業で生産される再生ナイロンは当社が仕入れて「REAMDE®」ブランドで販売（OEM生産）



Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

資源ビジネス：産業廃棄物処理事業

日本を、資源大国にしよう。
REFINVERSE Group

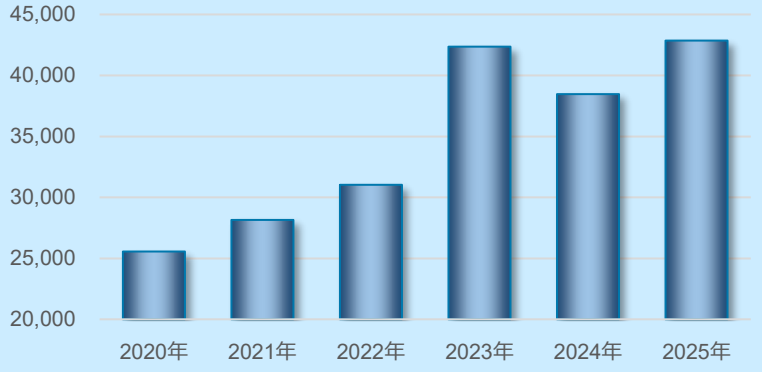
環境とコンプライアンスを重視した産業廃棄物収集運搬中間処理事業。

小規模解体工事→収集運搬→中間処理の一貫体制による利便性・対応力の強さで首都圏中心に事業展開。

IT化の推進

詳細な処分品目毎にリサイクル率を可視化し顧客に提供

受注件数



2023年コネクション社を買収し、事業規模を拡大し成長を継続

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

新規事業：バイオプラスチックの開発

世界中で大量に発生する「鳥羽根」を原料とした樹脂化技術を開発し、未活用資源から新たなバイオ素材を生み出す。
鳥羽根に含まれるタンパク質「ケラチン」に特殊な加工を加えることで生分解性バイオプラを低コストで生産することを実現。

原料（廃棄物）調達	当社保有技術による製品化		販売先（用途）
原料	**微粉砕**	**樹脂化**	
全世界の養鶏業で年間100万t以上発生している鳥羽根	鳥羽根を微細な粒度まで粉砕・微粉化	微粉化された鳥羽根を独自開発技術で樹脂化	**◆肥料用途** ✓ 被覆肥料の被覆材 ✓ 分解後は窒素肥料として有用 **◆工業用途** ✓ フェノール等の代替バイオプラ ✓ 接着剤等で活用可能 **◆レジャー用途** ✓ 生分解性のBB弾 ✓ ルアー等の釣り用具

Copyright© REFINVERSE Group, Inc. All rights reserved.

REFINVERSE Group

免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、見通し、戦略等は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営判断に基づくものであり、様々なリスクや不確定な要因等により、実際の業績等は当社の見通しと異なる可能性があります。